

バイオマス活用推進会議でいただいたご意見
(令和 3 年 12 月 20 日開催)

- 科学技術・イノベーション政策の方向性に沿って、地域や産業の現状を踏まえつつ、イノベーションを通じたバイオマス活用の拡大に資する施策を盛り込んでいくことが重要（内閣府）
- 2030 年度までに少なくとも 100 箇所の脱炭素先行地域を創出する脱炭素ロードマップや、2013 年度と比較して、2030 年度に温室効果ガスを 46%削減するという地球温暖化対策計画を踏まえると、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献するバイオマスを活用することはますます重要（総務省）
- 技術を社会に展開するのが産業界、サイエンスの知見を蓄積しているのがアカデミアであるため、革新的なバイオマス技術を社会に実装していくためには、産学連携の促進が不可欠（文部科学省）
- 今回の「バイオマス活用推進基本計画」の見直しにあたってはバイオマス発電の導入拡大に向けて、国内森林資源の利用拡大や燃料の食料競合やライフサイクル温室効果ガスの排出量などの持続可能性に関する取組の必要性等について適切に盛り込まれることを期待（経済産業省）
- 生ごみなどの食品廃棄物や、し尿・浄化槽汚泥等の地域で発生するバイオマスの集約処理など、下水汚泥と他のバイオマスとの分野を越えた連携を進めていく必要（国土交通省）
- ライフサイクル全体にわたる持続可能性を考慮しながら、バイオマス資源をエネルギーとして活用することは、化石燃料の使用量削減や廃棄物の有効利用の推進等につながることから、資源循環の促進、及び脱炭素社会に向けた取組として重要（環境省）